

橋町の見どころ

まちの歴史シリーズ ②1

橋町HP <https://tachibana-net.jp> [歴史・史跡](#) クリック

発行：橋町まちづくり推進協議会
ふるさと部会
発行日：令和6年3月1日
責任者：國平 安治
事務局：橋公民館 22-3884

今月号の案内者は
釈迦寺区長 前田信俊さん



クイズ

●釈迦寺遺跡で県の重要文化財になったのはなぜ？

遺跡の場所



お詫びと訂正
先月号の橋の名前は「仲橋」が正式名称でした。お詫びして訂正します。



ゆにゆう せいどうき 輸入された青銅器

しゃかじいせき 釈迦寺遺跡 (釈迦寺) パートⅡ

●**前回**は、遺跡の場所や発見された経緯などを簡単に紹介したとバツェン、なんで佐賀県の重要文化財になったのか、そこん所を伝えられなかった。

●**今回は**、なかみについて紹介すっタイ。

●**出てきた**とは、弥生時代★①の甕棺★②（お墓）などのお墓が123基以上★③。古墳時代6世紀のお墓も1基見つかつと〜と

●**一番重要**かとは、弥生時代の甕棺から、当時としては貴重な青銅器でできた財宝★④が3個★⑤見つかつたと。

●**そい**が佐賀県の**重要文化財**に登録★⑥されたタイ。

●**なんでも**、あの有名な吉野ヶ里遺跡の最終報告書★⑦にも釈迦寺遺跡ンことが、のっとらしかね。たいしたもんたいね。

★印番号の解説

★①弥生時代とは？

今回もボクが案内するね。



今から約 2500 年前頃から1700 年前頃の時代。始まりと終わりの年代は、まだ学者さん達も色々な意見があるんだ



★②甕棺

土を焼いた「土器」を使ってお墓にしたもの。この時代、北部九州地域に特に多いんだ。
(右は吉野ヶ里遺跡甕棺墓から)



箱式石棺墓 (山口県土井ヶ浜遺跡)

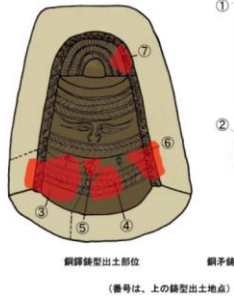
★③甕棺の出土数

昭和 6 年頃	甕棺 30 基以上
昭和 46 年	甕棺 10 基
昭和 62 年	甕棺 75 基
	石棺 2 基
	石蓋土壇 2 基
	土壇墓 4 基
	総計 123 基



★④青銅器でできた財宝

青銅は、銅に少量の錫を加えて作られる合金で、加工しやすいので古代では重要な金属だったんだ。容器、工具、武器、祭り用具などに加工されたんだよ。



★⑥県の重要文化財

これらは完形品で質が良く、船載品（輸入品）と考えられているんだ。

重要文化財に指定されたのは、青銅器が弥生中期の甕棺に副葬されているのは珍しく、しかも輸入された良質の青銅器は当時のクニの成立を考えるうえで重要だからなんだ。（市教委 HP）

★⑦吉野ヶ里遺跡報告書に書かれている

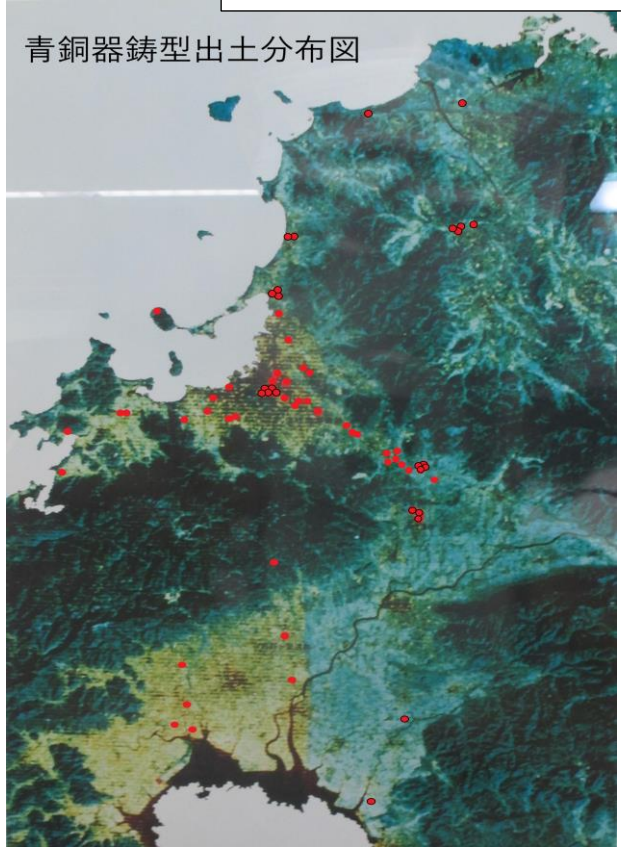
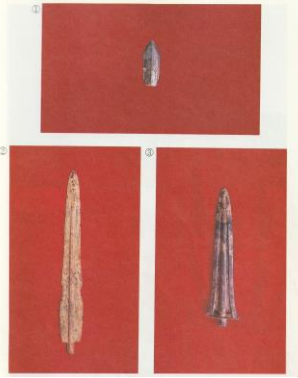
佐賀県文化財調査報告書第 227 集「吉野ヶ里遺跡総括編」（2020）332P に、「クニ」の始まりを予測させる遺跡として多久の牟田部遺跡と共に紹介されている。

鳥栖安永田遺跡出土鑄型と銅鐸復元（遺跡解説書より）

福岡県の須久岡本遺跡パネルから

★⑤3 個の財宝

釈迦寺遺跡からは、右写真上の銅鉞 1 個、左側の銅剣 1 個、右の銅戈 1 個が出土したんだ。



今日の う・ん・ち・く

北部九州では、右図のように福岡市の平野部から鳥栖を経て佐賀平野にかけて青銅器鑄型が多数発見されています。残念ながら武雄盆地ではまだ鑄型の発見がありません。釈迦寺遺跡の場所は、当時は海岸が後退していく場所でも東川が杵島山にぶつかる場所です。杵島の王は、水路交通の重要な所に墓を築いたのかも。（福岡県の須久岡本遺跡のパネルを参考にまとめました。）

今回のご紹介した遺跡は『弥生時代』のものでした

注) 下表の年代は諸説あります

時代区分	旧石器時代	縄文時代	弥生時代	古墳時代	奈良時代	平安時代	鎌倉時代	南北朝・室町・安土桃山時代	江戸時代
年代	～前14000頃	前14000～前5C半	前5C半ば～3C	3C～7C	710～794	794～1185	1185～1333	1333～1603	1603～1868
主な市内遺跡 赤書は橘町	草場・おつぼ山第1水門・南檜崎遺跡。 若木町小路遺跡、中野の黒曜石、柏岳サヌカイト	市場・下貝原・釈迦寺遺跡等の遺物。市内200カ所以上。阿舍利・檜原遺跡（山内）	小橋-みやこ遺跡の環濠。潮見川流域・釈迦寺等遺跡、市内100カ所以上。東宮裾遺跡	町内遺跡の鏡、銅剣。玉江遺跡、玉島・潮見古墳、おつぼ山神籠石、東福寺 武雄平野を取り囲む山の周辺で300基以上	肥前風土記と歌垣山、井手橋・林副（墨書土器）ドウザマ墓地 立石と官道 小野原遺跡 武雄温泉 広福寺山像向野須恵器窯跡（北方）	長嶋庄成立橋町糸里制庄の前遺跡 おつぼ山経塚 長嶋庄が蓮華王院領 武雄神社、黒尾神社、各地の経塚、佐賀県最古の文書（実検状）	潮見城跡と館跡、潮見川流域・馬場・立岩等の中世遺跡、潮見川開削と河重葺文石源頼朝御教書 塚崎庄が長嶋庄から分離	北肥戦史等による北部九州動乱、洪江氏勢力拡大と日鼓城の悲劇、潮見讓落城と鉄砲・丹宗堀塚崎庄拡大、武雄・黒尾社、後藤が洪江攻略、肥前古窯跡と古武雄	三法万郷（橋は本藩・蓮池・後藤領） 鳴瀬宿と御狩場、長崎街道上野本窯・皿山窯跡 南部系窯跡後藤鍋島藩の蘭書、大砲等 北方炭鉱